

Emigrate → Susami

すさみ町 移住 GUIDE BOOK



すさみ町の魅力を
動画でご案内しま

人も時間もモノも
すべてが大切に感じられる暮らしを手に入れました



すさみ町に、ゼーンぶあります。

SUSAMI



すさみ町の概要 (平成29年2月集)

総人口：4,247人

総面積：174.46 ㎢

年平均気温：約17℃

年平均降水量：約2,300mm

キラキラ輝く青い海が自慢のすさみ町。と云っていたら、いやいや すさみ町は空気が緑色かと思うくらい濃くてやわらかな曲線の山々が自慢なんだよ、と。すると、またまた なあに言ってるんだ、すさみ町のいいところは「ひと」だよ。そうなんです。自然も人も魅力いっぱい。のまち「すさみ町」。

このままずっとせわしなく暮らしていくのかな、時間ってこんなに速いかわかるものなのかな、と毎日ちよっと疲れたらこのガイドブックをじっくり見てください。

すさみ町の魅力をあちこち切り取って1冊にまとめてみました。

ほんの一部しか紹介できないのが、ほんとザンネンですけど。



インブーたん大王 キング様



インブーたん王子

すさみ町に移住すると、 インブータン王国の国民に！

1970年、和歌山県高田試験場(すさみ町)にて、種を父に種を母に、日本国産初のインブータが誕生。1981年より毎年5月3日に「インブータデー」を開催。1996年、日本国産相産部にてパロディ国家として当時の首相 中曽根総理に建國宣言書を手渡す。また日本国産産大臣と通商友好条約を締結。インブータン王国の歴史を簡単に言うとは以上なんです。インブータをマスコットとしてインブータ肉(イブの恵み)の普及とすさみ町のPRに頑張っています。すさみ町を領土としているので、すさみ町の住民はインブータン王国の国民でもあるんです。

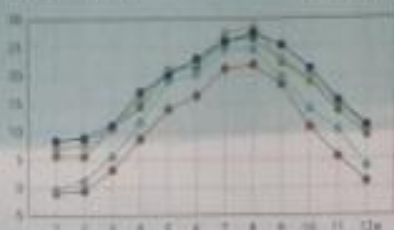


世界遺産・国立公園・ジオパーク

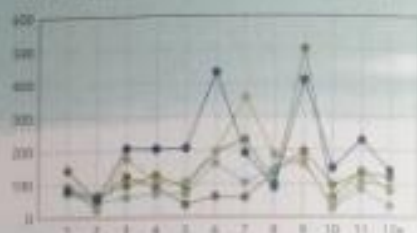
年齢別区分人口割合 (%)



月別平均気温 (°C)



月別平均降水量 (mm)



マークのついた写真にスマホをかざすと動画が楽しめます！



動画を撮影して！

3



Blooprを起動し
マークがついた写真にかざす

2



App StoreまたはGoogle Playで
「Bloopr」を検索し
ダウンロード (無料)

1

動画の楽しみ方

※本アプリはスマートフォン専用ですが、タブレット端末でもご利用いただけます。
 ※一部機能はOSバージョンアップにより動作しない場合があります。



こんなに違う！「すさみ時間」



「すさみ時間」は単にのんびりしているのではなく、
 濃い時間がそれぞれの人のペースで流れる、という表現が一番近いのかも知れません。
 お日様の光や海の高さ、潮の香り、木々の匂いが身近に感じられるから、
 思い切り深呼吸したり季節の移り変わりを肌で感じたりできる幸せ。
 都会で暮らしている人とすさみ町で暮らしている人の過ごし方を時間で比べてみました。

平日
weekday

BIG CITY

SUSAMI

家族・子供と
会話する時間が
少ない

通勤時間は
公共交通で1時間半

カフェや居酒屋への
来店が多い
徒歩のたのびムに誘うと
さらに帰宅は遅く

家族とは別々の
濃い食事

子供との時間が短い



6:00

7:00

8:00

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

22:00

23:00

24:00

ゆとりある朝の時間

通勤時間は長くても
車で30~50分

家族と一緒に
とる夕食

子育てや子供との
対話が増加





休日
holiday

BIG CITY

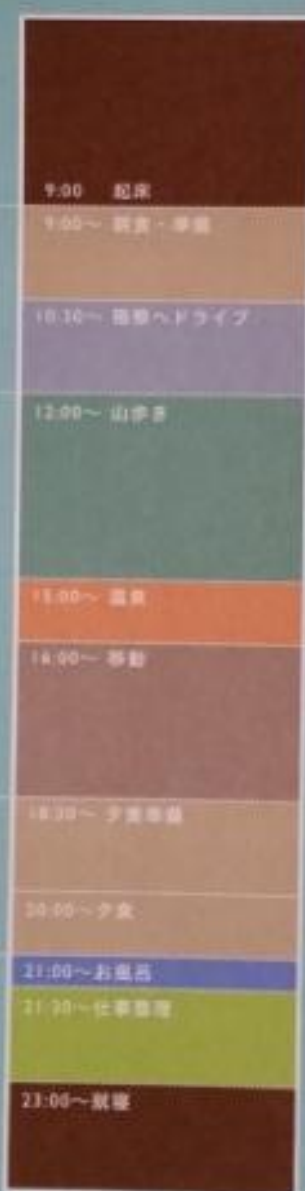
SUSAMI

平日の通勤ストレスで
遅い起床

通勤にもお金がかかる

通勤で移動時間が
増加し、自分の趣味の
時間がとれない

遅い夕食
食後の困らんもなし



6:00
7:00
8:00
9:00
10:00
11:00
12:00
13:00
14:00
15:00
16:00
17:00
18:00
19:00
20:00
21:00
22:00
23:00
24:00

朝会より早く起床

ゆとりある朝食時間

キャンプ場まで
30分！お昼も
1/4程度

通勤なし！

家族時間や
公園での遊びも
可能

ゆっくりした
週末ディナー
食後の困らんも
ゆったり



暮らしてみないと
向いているか不向きなのかわからない。
だから、まずは行動してみるんです。



浅田さんの1日

6時	起床
7時	朝食 子どもをバス停へ
7時30分	庭にエサやり 畑仕事 洗濯 家族 準備など雑務仕事
8時30分	朝の挨拶 家事・洗濯など
9時30分	農務 プラン作り
10時30分	作業準備
11時30分	子どもをバス停まで迎え
12時30分	昼食
13時30分	朝風呂
14時30分	家族の会話 家族会議など
21時30分	就寝

2007年に兵庫県からさきみ郡佐本に移住してきた浅田さん家族。仕事は野菜の栽培と約300羽の鶏を飼いながら、その卵で作った「プリン販売」をしている。「丹波篠山で有機農業をやっていたのですが、関先が進んできたのと同時に『販売するための野菜作り』に違和感を感じはじめ、もつと山奥で暮らしたいと思うようになったんです。当時、和歌山の移住友達のところへ遊びに行つて和歌山との縁が繋がりがり、きれいな川があること」が絶対的条件の私にとって、「ここはまさにぴったりの場所でした」。美しい海と深い山々。その両方があることが大きな魅力であり、加えて不便な点もまた自分にとっては魅力と話す浅田さん。「自然と向き合う暮らしは自分で考えて動かなくてはいけない事が多く、そこには自己責任と自己完結が必要になります。誰かのせいではなく、ここで暮らすことを選んだ自分の責任と暮らしを守るために自分で決定し行動することが大切なんです。さらに子育ての環境としても最高の場所なんです。風の気配や日の沈み方で季節の変化を感じるなんて都会ではありえないでしょ。生きている事への感謝が芽生えるなんて、この地ならではだと思います」。浅田さんの表情から、不便や不足を口にせず、ありのままを受け入れ満足することで穏やかな気持ちでいられるということがわかる。

「なかのかわ農園 浅田 大輔 さんご家族」



平飼いでいる元気な鶏が毎日産んでくれる卵は、とっても新鮮で濃厚。この卵を使って和らぐプリンを作っている浅田さん。ひと口口に入れると卵の風味だけでなく、すまみのきれいな香や空気も一緒に体に染みていくような美味しさが広がります。



自然に囲まれた生活は決して便利ではない。
しかし、それを補い超えるほどの
人とのふれあいがあるがたい。



西口 なおみさんの1日

5:00	起床
6:00	朝・お弁当作り・きんぽ
7:00	出勤
8:00	仕事
17:30	帰宅
18:30	夕飯準備
19:30	夕食
21:00	お風呂
22:00	就寝

「西口 文雄 さん・なおみ さん」(55歳)

2016年10月に京都からすさみ町に移住。サーフィンやキャンプなどのレジャーで和歌山に来た事があった西口さんは、暮らしなら海の近くでと考えていたというが、なぜ海から離れた暮らしを選んだのかと聞くと、移住体験ツアーに参加し、その後の家を貸せてもらいに来た時に出会った両隣のおばあちゃん達が素敵すぎて、ここに決めました。都会では煩わしいと言われる近所づきあいや人づきあいを求めていたから、地域の人のふれあいがとにかく楽しくありたいと思う。「毎朝毎晩焚き火をして人が集まるんです。獲った獲物の卵をみんなで食べながら地域での暮らし方を教えてくれます。仕事もこの地ならではの仕事をしたいと思っていましたから隣の白浜町で水産試験場の就職が決まって嬉しい限りです。」主人は体験ツアー中に街を歩き、砂浜を歩き、地元の人と会話をし、「すさみで暮らそう」と決心したと話す。「自然より人のパワーがすごい」と感じました。毎日を大切に大事に過ごすと思えるのもこの魅力です。「まず我が家に来て泊まってみてください。子育て世代の人達ももっと増えると思います。おばあちゃんたちが色々な事を教えてくれるし、とにかく癒されます。」特別な免許を取るのがなおみさんの今の目標。来年には紙を手に入れた山の中を走りまわっているかも。

とっても明るい西口さんは、引っ越し当日から近所の奥田さん達の焚き火に招かれ、焼酎のスープやお酒で宴会の中心に、「火を囲んでおいしいものを食べると誰かが笑顔になれます!」人づきあいが大変なんだと言葉通り、人づきあいが暮らしの中心になっていく中で大切なんです。



地域の人達との
長いコミュニケーションが
暮らしやすさにつながっています。



浅井 織さんの1日

7:00	起床 朝食・着にたく 掃除(洗濯機付)
8:00	仕事
11:00	帰宅・朝食
14:00	舞むしり・犬の散歩 家事
16:00	夕食準備
17:00	2人で夕食 片づけ・お風呂の準備 2人で番組(TVは見ない)
20:00	ひと人入浴
21:00	ひと人寝る
22:00	お風呂
23:00	就寝

2015年8月に大阪府からすさみ町に越してきたご夫婦。生まれ育ちも大阪市内という浅井さんは、定年退職後に田舎暮らしをしたいというのが長年の夢だったという。途中から、元氣なうちに田舎に来たほうが暮らしやすいかなと思って早退退職を決めました。家は北海道出身なので海の見えるところがいいと話していて、移住体験ツアーに参加したのがきっかけです。他の町と比較してすさみ町に決めたのは正解だったと話す。とにかく行政のフォローが感動的でした。ツアー中は決して推してこなかったのですが、決めてからは住居の手配から地域住民の方々とのコミュニケーション、就職活動にも協力してくれ、本当に助かりました。お祭りや地域の清掃活動、消防団にも入り、今ではすっかりなくてはならない存在に、「地域の人達と関わってもらえる事が何よりの喜びで自分自身にも自信がもてるようになりました。環境と人とのつながりが一番大切なんだなとつくづく思っています。空気が水がおいしいせいか、長年の悩みであったアトピーがすっかり治ったと言う織さん。一泊安ちよくて子育て世代にはおすすです。中、高生達もお祭りに参加したりしているのびのびとした楽道な子どもが多いんです。こんなに素晴らしい地域があるんだよ」と宣伝したいくらいです。第一の人生の舞台にすさみ町を選択したのは大正解!と話すお二人。

「浅井 隆さん・織さんご夫婦」



伝統行事やお祭りを大切に守り継承しているすさみ町で、頼りになる存在になっているのが浅井さん。「緑の下の力持ちになりたい」と話すように、地域の人々にとって浅井さんは欠かせない存在。困った事があるとき互いに助け合おうと声を掛け合えるのが何よりと思っています。





すさみ町の子育て
**地域ぐるみの
 子育てが実現**

すさみ町では町をあげて
 子育てに力をいれています。

温厚な気候と行政の子育て支援も充実していて「子育てしやすい環境」が揃っています。初めての子育てに悩む、ということがなく近所の先輩ママやおばあちゃん、地域の人がみんな子どもを育てるという街が、すさみ町です。世代を越えた取り組みも盛んで、おきなちが中心となって作りあげるイベントや伝統を継承していくお祭りも盛んに行われているから、人との関わりやコミュニケーションが自然と身に付くのも大きな魅力。地域の力を活かして、すさみ町で子育てするはずですよ。



保育園から中学校まで連携した英語活動を通して「ふるさとを誇り、そのよさを発信できるコミュニケーション力豊かなすさみ」の子育てを目標に、英語教育に取り組んでいます。グローバル社会の時代に必要スキルを身につけることは必須として、ALT（外国語指導助手）を迎え生きた英語を子ども達に教えています。歌やゲームなどを通じて英語を日常会話に取り入れていく事がからスタートします。年齢にそって、劇作、表現、演劇、プレゼン、ロールプレイ、英語スピーチ大会へと進ませていきます。英語への興味・関心を持たせ、毎日の生活に英語を浸透させていくことでもあらゆる事に挑戦し積極的な子どもを育てていきます。

すさみ町の子育て
英語教育について

「子どもは町の宝」すさみ町の
 だれもが口にする言葉です。

保育園：ALTの先生や英語と熱々の英語の歌やゲームなどの遊びを通して楽しみながら英語に親しんでいきます。

小学校：ALTが英語と簡単な英会話やゲームを行う低学年から、中学年には外国の行事（ハロウィン、クリスマスなど）についても触れ、体験をしています。さらに高学年になると簡単な表現を使って楽しみながらコミュニケーションがとれるようになります。また、自分の思いを簡単な英語で話すことができるのも小学生の目標です。

中学校：ALTとの会話で初歩的な英語を聞いて理解できるようになり、自分の考えを話すことができるようになります。英語を聞くことに慣れ、書き言葉の進歩も理解したり、英語を使ってふるさとを誇りを表現することもあります。





すさみの美味しい食生活



この地に移り住んで育てた
おいしい無農薬野菜

「櫻井さん」夫婦

県外からの移住者が一番感動するのが、食べ物の美味しさだ。山の幸、海の幸といった自然の恵みはもちろんだが、自分の手で育てた無農薬野菜の美味しさは決して都会では味わえないほど違いがすると思う。愛知県でレコード専門店を経営していた櫻井さんは「すさみ町に移住したのが2001年なんぞ、もう16年になるよ。向こうでも半レコード店半農家をしていって、すさみ町で農業をするのはそんなに苦勞はなかったね。自給自足が実現できている生活に満足しているよ。お日様が起きている間は畑に出て雨の日には保存食を作るというサイクルだね」と話す。「農業や化学肥料を使わず季節に合わせた野菜作りをしていきたいの。植物には個性があると思うてるのよ。猪肉惣菜の世界がね、こぼれ種で野菜が育ってそれを私たちが食べる。そんな生活ができるようになったのも、ここにきてから。財力も考えなくてスーパーへいくのではなく、畑へ行って、さあ今日は何を食べようか」と考えるわ」と笑顔の表情は八十八夜にお茶を摘み、並煎り番茶を作る。その香ばしい美味しさは自家製ならではの、濃縮ついで合暮らしをしたのではなく、生き方として「自然にこの地を選んだ櫻井さん夫婦は、「すさみ時間」の中で暮らしを楽しんでいる。



すさみのうまい！特産物



伊勢海老

磯の風味が良く、骨から出る旨い伊勢海老が多く獲れています。すさみ100%が採れた逸品です。



ケンケンかつお

明治末期ハワイから伝わったケンケン魚。この漁法で獲れたカツおは鮮度が抜群です。



イカ

すさみのイカは肉厚でぷりぷりとした食感と甘みが特長です。特に寒い時期に獲れるアオリイカは絶品！



イノブタ

黒ブタ(デュロック種またはパークシー種)と雄インシシを交配して誕生した極上肉で、旨味が人気です。





地産地消の給食と 食育プログラム



熊鷹見中学校では食育推進の一環として保健委員会に協力してもらっています。食の知識を学ぶとともに、郷土料理や地域にふさわしい食材にも目を向けることで食文化そのものを考える力が身につきます。「味噌作り」は地産の大豆・麹の方や栄養教諭の方から指導を受け、出陣上「お味噌」の取り回しの際に土産として子ども達が誇っているとても喜んでもらっています。

すさみっ子の健やかな成長のために給食は「地産地消」を掲げ、地元JJAすさみの協力で、学校給食センターから製立の情報をもとに野菜の作付けをするといった取り組みをしています。産農家の野菜を使った手作りの給食は年間だけでなく、旬にもつながっています。四季の移り変わりがはつきりわかる地域だからこそ、野菜や米は食べ物から「旬」を知り、季節のめぐりを理解していきます。毎日の生活に自然が密接に関わっていることを日々体験しているのです。本から得る知識だけではなく、食べることで感じ、積み重ねていく経験は成長していく過程に素晴らしい影響を与えてくれます。



ひまわり会と 食いしん坊のすさみっ子たち

ひまわり会とは一人すさみの婦人部で、地元の直販所で作られた野菜を販売しているグループです。学校給食センターでは、生産者の顔が見える安全・安心な野菜を子どもたちに食べてもらいたい。学校給食にすさみ町内の農産物を何とか取り入れることはできないものかと考えていた時にひまわり会に出会いました。必要な野菜などの情報を給食センターから事前に受け、ひまわり会では会費に作付けを呼びかけていきます。地元の無農薬や低農薬で栽培された安心・新鮮な野菜は見た目はあまりよくないけれど、野菜本来の香りがプンプン、旬を感じることができ、おいしい野菜の味を子どもたちに知ってもらうことができました。また、当時がく、食育が盛んに言われるようになり、小学校の生活科でサツマイモの田植え・収穫体験をJJAとひまわり会の会員さんの協力を得て毎年行っています。収穫したサツマイモは給食センターで調理し、町内の全校児童・生徒に食べてもらっています。



熊野海中公園



ノースフェイス岩窟



松本道

プレートのおみ込みに伴って生み出された3種類の大地、それらが作る独特の景観、温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物、そしてそこから生まれた熊野信仰や夜流しなど、数多くの優れた自然や文化を体感できる「南紀熊野ジオパーク」。また「世界遺産 熊野古道大辺路」「タオの跡」そして「吉野熊野国立公園」など歴史と豊かな自然が身近にあることで、こここそ豊かな暮らしが実現します。

世界遺産、吉野熊野国立公園、
南紀熊野ジオパークの地で暮らす贅沢



熊野古道 大辺路 龍井桜/つつじのトンネル



磯先道



夢の川

海で、川で、山で
遊びは自由自在



PSOCKKATE



リポートレッキング



トイショウワウホトクワ



すさみ町総合運動公園

野山を駆け巡り、川や海で遊ぶ子ども達は、お日様の光を浴びて元気いっぱい。自然の恵恵を全身で受けて育つすさみっ子は、くっつくかない笑顔とパワーが魅力です。葉っぱや木の実、川の石ころなどを使って子ども達は自分で遊びを作ります。「これまでお金を払って体験させていたことが、身の回りに当たり前にあるのがすごい」と話すのは移住してきたお母さん達。親子でストレスフリーな生活ができることが何よりも幸せだと感じます。



道の駅すさみ



高野町総合運動公園 日本美術の園

おとなも子どもも
楽しめる施設がいっぱい



プール



ゲーム



スズとカニの水族館

SUSAMI MAP



地図にある砂の川はすさみ川で、遊べる川として有名です。



戦国武将の隠れ家のある、落差20メートルの美しい早の滝は広葉菜の産地であり観光に人気です。



高夢見川の本流にかかる高さ約30メートルの美しい二河の滝で、初夏の新緑や秋の紅葉が見事。



つややかで鈴の形をした花を付け、山梨の真珠とも呼ばれて毎年9月下旬～10月中旬にかけて咲きます。



2014年認定の世界一美しいまちすさみ。全国に認定された167市町村は、全国に認定されています。



グランランドゴルフ、パークゴルフ場としては西日本最大。他にサッカー、テニス、フットサルなども。



南国の花々に囲まれたリゾートホテル。太平洋の水平線を見下ろす5階建ての中庭花園見物もおすすめです。

1 キョウジョウロウ ホトギスの里

信本 WC ● 町民センター 役場 信本出張所 ● 信本診療所 ●



道の駅すさみに囲まれた林には石畳や木製のデッキがあり、自然の中でゆっくりと過ごすことができます。



歴史民俗資料館



旧集落の中心地として賑わい続けたすさみ町の貴重な文化財と生活用具や生活資料を保存・公開しています。



約250メートルの砂浜の海水浴場で、海客用トイレ、シャワー室、無料駐車場なども完備されています。

キイジヨウロウ ホトトギス

すさみ町 総合運動公園

ホテル ベルヴェデーレ

海中ポスト

稲積島



インフーテン公園の紹介の他、集落の歴史による移住・定住に関する情報発信などを行っています。



約55年から二十五年前の海客運動の痕跡(彫刻「シラウキムリ」)があり世界的にも有名。



海沿いの国道42号はサイクリングロードとして人気です。楽風を感じながら自然気分が楽しめます。



古より沖の島とあがめられ島内に穴天窟が祀られ、稲積島独特性植物群等は国の天然記念物に指定されています。



自然の海がそのまま活用されており、また島には磯が広がっているのも夏場でのんびり過ごすベストです。



石の漁倉船が降りて海岸沿いとなった名物の特産で、海客味が毎日神社の社屋「シラキ」となっています。



日本初の実験を最大化した公園として生まれました。海歩道を歩きながらながめたい「楽風」が楽しめます。



すさみ入島のワカ、島人神が祀られている。海客、定住から海客が訪れて120年、いろいろなアツキが生まれています。

すさみ町 総合情報センターができました。

国道42号沿いにある「すさみ町 総合情報センター」では観光案内の他、移住・定住に関する情報発信やアドバイスを行っています。宿泊体験など気軽に相談してください。



すさみ町では移住・定住希望者に対してわかりやすいおのことについて説明や案内をしています。就職、子育て、コミュニケーションなど親身になって相談のってくれるので安心です。気軽に相談を！



TEL:0739-33-7100

FAX:0739-33-7106

susami@chic.ocn.ne.jp

道の駅イブークランド・すさみ町 和歌山県西牟婁郡すさみ町見老津1-32

移住の流れ

引っ越し

引っ越しの際に必要な手続きなどをお手伝いします。ご近所となる地域の人を荷物運んだりと色々と手伝ってくださるはず。この一言ですっかり仲良しになるかもしれません。

住居さがし

すさみ暮らしを決めたなら住居さがしから始めましょう。家賃構成や暮らし方を聞いたうえで、空き家情報をはじめ、行旅や町の人々が暮らすのかに聞いてくれるので安心です。

情報収集

相談の時に気になった事項を詳しく情報収集するお手伝いをします。すでに移住されている方と話して話を聞いてみるなどもできます。現実的な話をみっちり話しましょう。

相談

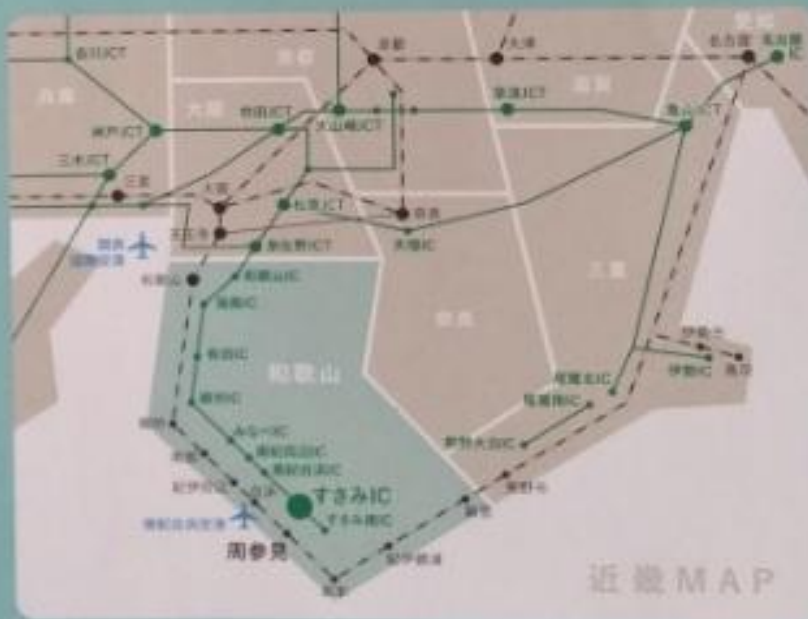
すさみ町ってどんな町ですか？保育所のこと、小学校、中学校のこと、経路先のこと、住まいのことなど気になることは例でも調べて、他の市町と比較してみることをおすすめします。

JR 京都・大阪からJRまでの線で周参見駅まで。

- ・JR天王寺駅から特急電車まで約1時間30分
 - ・JR新大阪駅から特急電車まで約2時間45分
 - ・JR京都駅から特急電車まで約3時間15分
 - ・JR三宮駅から特急電車まで約3時間45分
- ※周参見駅に停車しない特急電車もありますのでご注意ください。

お車

- ・大阪から阪和自動車道・海南快速道路・美濃郡の道路を経て、
- ・周参見IC→すさみICへ約2時間30分
- ・神戸・京都からの3時間10分
- ・備前岡山空港から紀勢道を経てすさみICへ約20分



すさみ町 子育て関連施策ガイド

一部施策をピックアップし、ご紹介しております。
その他の施策や詳細につきましては、お気軽に役場までお問い合わせください。

問い合わせ：環境保健課

☎ 0739-55-4803

● 妊娠がわかったら

名 称	内 容
妊娠届・妊婦面接	妊娠したら、できるだけ早い時期に産婦人科を受診しましょう。医師の指示が出たら妊娠の届出をしましょう。その際保健師が妊娠・出産について相談・指導を行います。
母子健康手帳の交付・妊婦健康診査受診票の交付	すさみ町に住民票のある方は、妊娠届出時に健康状態や健診・予防接種などの記録ができる母子健康手帳を交付します。また、妊婦さんの健康状態やお腹の赤ちゃんの成長を診るために14回分の妊婦健康診査の費用を助成します。
プレママセミナー	助産師・保健師による母親学級を実施しています。妊婦同士の交流も目的としています。
妊婦訪問	助産師が妊婦中に家庭訪問します。妊娠中の様々な悩みについて相談・指導を行います。
すさみ町不妊治療費助成事業	不妊で悩んでいる方に対し、専門医師による直接相談の紹介や、不妊治療に要する費用の一部を助成します。

問い合わせ：住民生活課

☎ 0739-55-4804

● 出産後の手続き

名 称	内 容
出生届	赤ちゃんが生まれた日から14日以内に住所、出生地、本籍地、居住地のいずれかの市区町村に出生届を提出してください。
出産育児一時金	国民健康保険・社会保険に入っている方もしくは、その保険に入っている家族（扶養家族）が出産された時に申請すると、出産費用の差額分が支給されます。
児童手当	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長を資することを目的に、中学修了までの児童を養育している方に手当を支給します。
子ども医療	保険証を受けて医療機関等で受診をされた際、支払われた保険診療金額について、その一部を助成します。 ※18歳まで医療費無料！
未熟児養育医療	身体の発育が十分でない状態で生まれた赤ちゃんで、指定医療機関の入院治療が必要な場合に医療費を助成します。
すさみっ子誕生祝い金	出産日の1年以上前から住民登録があり在住していること、出産後も引き続き町民である方の出産について、すさみ町商工会の商品券で出産を祝います。 ※金額：第2子まで…10万円／第3子以降…15万円

問い合わせ：住民生活課障害福祉係
☎ 0739-55-4804

福祉制度

名称	内容	必要なもの
障害者福祉医療	保険証を使って医療機関等で受診された際、支払われた保険診療金額について、全額助成します。	障害者本人の保険証および療育手帳・身体手帳・印鑑・銀行通帳

問い合わせ：住民生活課 母子福祉係
☎ 0739-55-4804

ひとり親家庭

名称	内容	必要なもの
児童扶養手当	ひとり親家庭などで18歳未満(障害のある場合は20歳未満)の子どもの世帯主として生活している方に対して手当を支給します。	・印鑑・住民票・通帳・戸籍謄本 ・課税証明・個人番号
福祉医療費助成制度	ひとり親家庭の親と子(18歳未満)の医療費を助成します。	・健康保険証・通帳・印鑑 ・課税証明・個人番号
母子・寡婦福祉資金	ひとり親家庭および寡婦(夫)の方が経済的に困窮のときに安心して生活ができるように貸付金を貸付します。	・印鑑 ・所得証明書
わかやまひとり親家庭アシスト	児童扶養手当を受給されている方を対象に支援員による相談や利用できる制度の紹介、養育サービス利用料の補助をします。	相談事例や利用する制度により異なります。

親子で利用できる施設

【公民館】 公民館では、住民のみなさんが教養を高め、健康を維持・増進し、心を豊かにするとともに、文化の振興、社会福祉の増進を図ることを目的として、住民の生活に即した教育、学術及び文化に関する各種の事業を行っています。

- 絵本の読み聞かせ一帯4土曜日 13:30～
夏休みとクリスマスにはイベントあり(一帯図書館前)

名称	開催日	住所	お問い合わせ
周参見公民館	毎日	すさみ町周参見4120-1 すさみ町総合センター1階	☎ 0739-55-3037
周参見公民館佐本分館	火・土曜日	すさみ町佐本中228	☎ 0739-57-0401
江住公民館	火・木・土曜日	すさみ町江住1428	☎ 0739-58-0256

【住民交流センター】 住民交流の拠点となるコミュニティセンターとして各種相談事業をはじめ、健康教室など各教室を開催、育児サークル等のサークル活動への支援にも取り組んでいます。

- おもちゃ・絵本の貸出
子供たちの健やかな成長発達を促すために、乳幼児から幼児までのおもちゃや絵本の貸し出しを行っています。
- 子育て用品等貸出
延長、ベビーベッド、チャイルドシート等育児用品、妊婦用品等の無料貸し出しを行っています。(住民登録があり在住している方対象)
- プレイルームの開放
小さいお子さんの遊び場としておもちゃ等が充実したお部屋となっています。
外で遊べない時やお母さん同士の交流の場として自由にご使用下さい。(母子事業実施日は使用できません)

開催日時	対象年齢	住所	お問い合わせ
月～金曜日 8:30～17:15	年齢問いません	すさみ町周参見3871-3	☎ 0739-55-3445

● 保育所

幼少期から英語に慣れ親しむことを目的に
外国語指導助手(ALT)と共に過ごす時間、英語で遊ぶ時間を設けています。

募集時期：毎年11月

保育料：保護者及び児童の扶養義務者の住民税課税額の合算により算定

同時入所や多子(紀州3人っ子基準)軽減等、詳しくは係までおたずねください。☎0739-55-2146

保育時間：7:30~18:30/通常保育時間 8:00~16:00

名称	住所	定員	対象年齢	連絡先
周参見保育所	すさみ町周参見2671-1	130名	0歳(10ヶ月)~就学前	☎0739-55-2079
江住保育所	すさみ町江住670	30名	2歳~就学前	☎0739-58-0140

● 小学校・中学校 支援

問い合わせ：教育委員会

☎0739-55-2146

名称	住所	対象	手続き
子ども支援室	小中学校の学習支援や不登校児童生徒への相談を実施	学習支援：小学4~6年生、及び中学3年生	年度当初に募集
スクールソーシャルワーク	週1回スクールソーシャルワーカーが小中学校や家庭を訪問し、児童や保護者の相談に応じます	町内在学児童及び保護者	在学校に申し出て下さい

● 課外活動

問い合わせ：周参見公民館

☎0739-55-3037

名称	内容
放課後児童クラブ	放課後や夏休みなど、仕事などで保護者がいない家庭の小学生を対象に、児童館や空き教室を利用して、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る事業です。 対象：小学1年生~6年生までの児童/定員：20名(学年を優先して受け入れます)
サマーチャレンジ教室	毎年、夏休み期間中小生を対象に様々な体験教室を開催し、それぞれ思い思いの教室にチャレンジします。
少年少女スポーツクラブ	体育協会加盟クラブ(剣道・野球・空手・サッカー・バレーボール・陸上)
われら中学生学校(われ中)	中学生として必要な力を学校以外の場で様々な活動を通して養い、友情や絆を深めます。
放課後こども英語教室	町内の小学生を対象にALT(外国語指導助手)の先生から英語を学びます。
スターフィッシュマーチングバンド	イノブタダービーなどの町内行事や周辺市町村の行事で演奏活動をおこなっています。

● 経済的支援

問い合わせ：教育委員会

☎0739-55-2146

名称	内容	対象	手続き
高等学校進学等助成	町外の高校等に進学又は下宿及び寄宿する生徒の家庭に対し、進学等に関する費用の一部を助成しています。	町内に住所を有する方	対象者に案内を送ります
就学援助費	就学に経済的支援を必要とする方を対象に、学用品や給食費等について一部援助します。	町内在住または町内校在籍の小中学校児童生徒	学校を通して申請
教育就学奨励費補助	経済的な理由で就学または就職が困難な家庭の生徒に対して奨励費を支給し、進学を支援します。	町内在住で高校に進学する方または就職する方	中学生は在籍校、高校生は教育委員会に申請
教育奨学金貸与	経済事情により進学困難な方に対し、学費の一部を貸与します。	すさみ町に住所を有する方で高校、大学に進学または在籍する方	教育委員会に申請

● ひとりで悩まないで

問い合わせ：環境保健課

☎0739-55-4803

名称	内容
子育てに関する相談窓口	子育て全般の悩みをお聞かせします。
お子様の発達等に関する相談窓口	お子様の発育や発達に関する悩みをお聞かせします。(発達・きこえ・ことば・みえ方相談、作業療法等)

赤ちゃんが生まれたら

名称	内容
こんにちは赤ちゃん訪問	出産後の赤ちゃん・産婦を対象に、助産師が家庭訪問します。ママになった不安を少しでも減らし安心して子育てできるように支援します。
ベビーマッサージ	助産師の指導のもとでベビーマッサージを体験し、親子のふれあいによるコミュニケーションのとり方を学びます。
ブックスタート	乳幼児健診(3~4か月健診)時に、絵本のすばらしさ、読みかかせの大切さを伝えるために、絵本を一冊プレゼントしています。
前向き子育てプログラム	トリプルP講座を5回コースで実施しています。しつけや子育て方法に自信をつけ、前向きに子育てできるよう支援しています。(託児あり)
子育て教室	赤ちゃんとの向き合い方、親子ふれあい遊び、絵本の紹介などを行い楽しく子育てできるよう支援しています。
母子相談	対象：妊婦~幼児 内容：身体測定・発達チェック・育児相談 日時：毎月10日(土・日・祝日の場合は翌日に変更)
育児サークル	対象：保育所入所前の子供と保護者、その他興味のある方 内容：季節行事(七夕・クリスマス・ひな祭り)海水浴・保育所訪問・遠足・料理・自由遊び 日時：毎月第2・4本曜日 10:00~11:30
母子保健推進員	すさみ町には、11名の母子保健推進員さんが、町から委嘱を受けて活動しています。妊婦さんやお子さんのいる家庭の身近な相談役として子育てをサポートします。

乳幼児健診

健康診査はお子さんの健康状態の確認・発育発達をみます。

また専門スタッフによる指導・相談を行います。

問い合わせ：環境保健課

☎ 0739-55-4803

対象	内容
3~4か月児健診・9~10か月児健診 1歳6か月児健診・3歳6か月児健診	計測・保健師の発達チェック・栄養指導・歯科健診・医師の診察・保健指導

救急医療情報

名称	内容	受付時間	住所・電話番号
田辺広域 休日急患診療所	夜間・休日に急病になった時の診察	小児科：土曜日 18:00~21:30 内科・小児科・歯科：日祝 9:00~11:30/13:00~16:00	☎ 0739-26-4909
和歌山県子ども救急 相談ダイヤル	夜間・休日に子どもが急病になった時の相談	平日：19:00~23:00 土日祝：9:00~23:00	☎ #8000 073-431-8000 (IP電話・ダイヤル接続)
和歌山県救急医療 情報センター	夜間・休日に急病になった時の最寄りの医療機関案内	24時間対応	☎ 073-426-1199

子どもを預けたいとき

名称	内容	対象	お問い合わせ
ファミリー・ サポート・センター	子育ての援助を受けたい方と子育てのお手伝いができる方をつなぐ有償ボランティアの会員組織です。事前に会員登録が必要です。 ●利用に際し、1世帯当たり年間上限を1万5千円とし利用料(登録料を含む)1/2補助あり。 ●小学生以下の児童を3人以上保育している方の利用に際し、就学前の児童の利用料を1世帯につき1万5千円を上限とし助成。	・すさみ町に住民登録している ・小学生以下の児童を養育している	さっすばーく ☎ 0739-26-5486
一時預かり事業	緊急一時保育として町営児童保育所において一時預かりをします。月7日間を利用限度とします。	町に住民登録を有する満1歳から就学前の児童	教育委員会 ☎ 0739-55-2146
子育て 短期支援事業	疾病等の社会的な事由により家庭における養育が一時的に困難になった児童を児童福祉施設等に預けて一定期間養育します。町の一部負担あり。	養育が一時的に困難となった家庭の児童	住民生活課 児童福祉課 ☎ 0739-55-4804